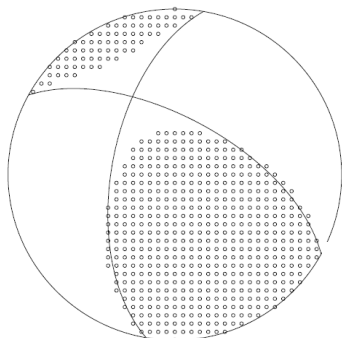


10月21日バヌアツ諸島の地震 (W-phase を用いたメカニズム解析)

W-phase による解

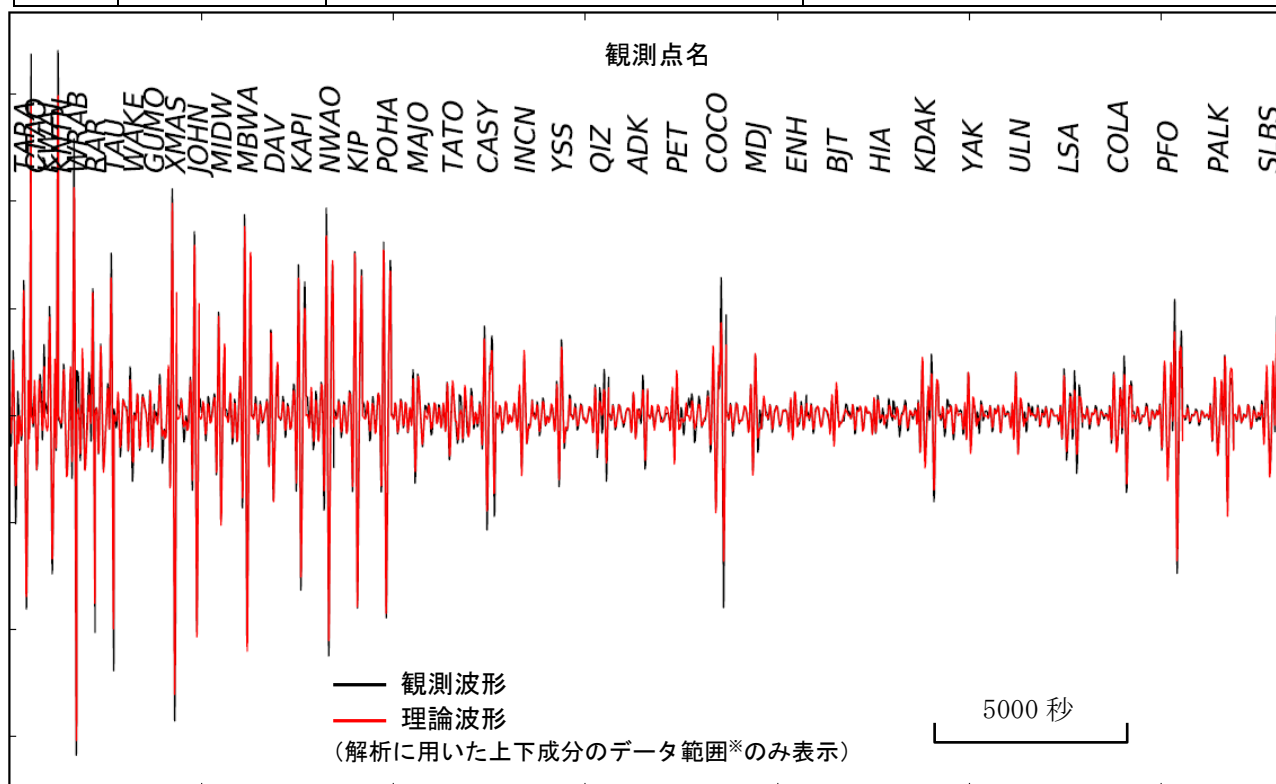


2015年10月21日06時52分(日本時間)にバヌアツ諸島で発生した地震について W-phase を用いたメカニズム解析を行った。メカニズム、Mw とも、Global CMT などの他機関の解析結果とほぼ同様であり、Mw は 7.1 であった。なお、W-phase の解析で求めた震源は S15.0°、E167.2°、深さ 141km となった。

W-phase の解析では、震央距離 10° ~ 90° までの 39 観測点の上下成分、32 観測点の水平成分を用い、100~300 秒のフィルターを使用した。

注) W-phase とは P 波から S 波付近までの長周期の実体波を指す。

Mw	M ₀	断層面解 1 (走向/傾斜/すべり角)	断層面解 2 (走向/傾斜/すべり角)
7.1	5.56 × 10 ¹⁹ Nm	189.9° / 58.8° / 146.7°	298.7° / 62.0° / 35.9°



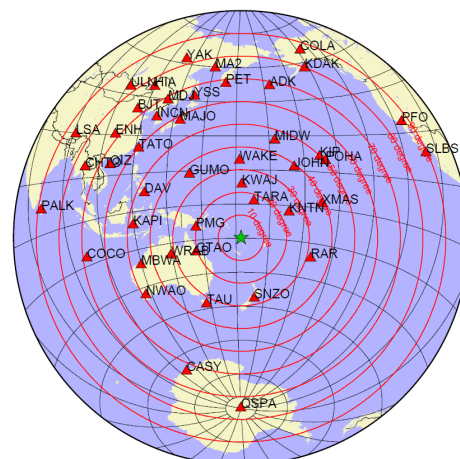
※解析に用いたデータの範囲は 15 秒 × 震央距離 (度) としており、
各々の観測点の解析区間のみを繋げた波形を表示している。

(W-phase に関する参考文献)

Kanamori, H and L. Rivera, 2008, Geophys. J. Int., **175**, 222-238.

解析データには IRIS-DMC より取得した広帯域地震波形記録を使用した。

また、解析には金森博士に頂いたプログラムを使用した。記して感謝する。



解析に使用した観測点配置

気象庁作成